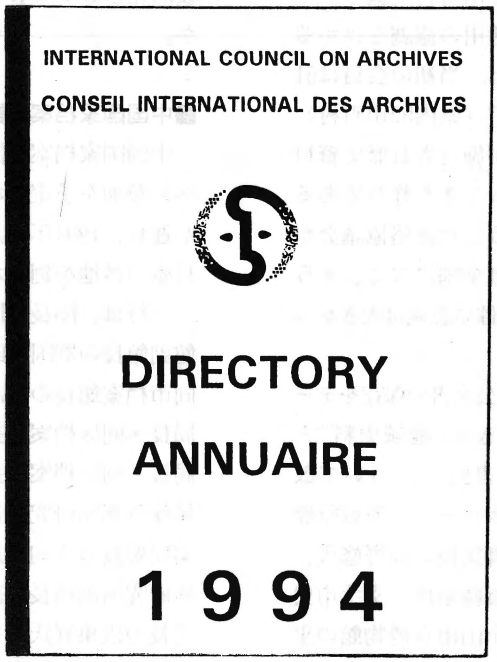
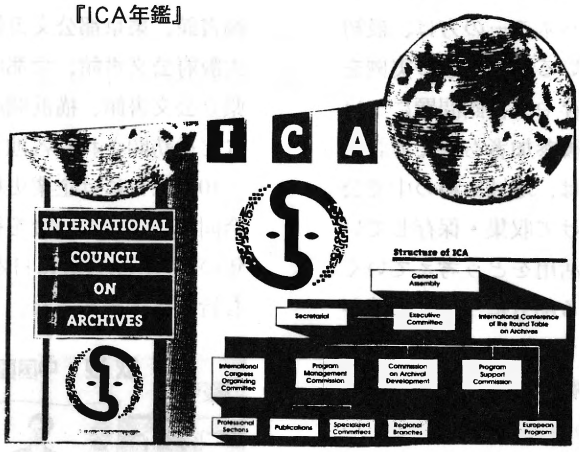
もっと知ろうよＩＣＡ　4
『ＩＣＡ年鑑』とＩＣＡのロゴマーク

ＩＣＡは、1978年以来毎年『ＩＣＡ年鑑』(DIRECTORY／ANNUAIRE)を出版している。判型はＢ５判よりやや小さいめで、簡易製本。なんとなくゼロックスの両面コピーのような印刷なのが、仲間内の出版らしい雰囲気を伝えている。これは基本的にはＩＣＡの各組織の役員・会員名簿である。だから、ＩＣＡの活動を担う各種委員会、部会、地域支部の役員とカテゴリーＡ、Ｂ会員と名誉会員の連絡先が基礎情報。国際組織の名簿らしい特徴は、敬称の付け方。国によって学歴や学位の表現が異なるという理由で、博士号などの肩書きは一切なし。すべて Mr.,Mrs. などで統一されている。人名索引付き、英・仏語。 1993年版からは規約や各種委員会ごとの活動目的や活動記録が加えられるようになった。当然頁数も増えた。本文だけで93年が120頁、今年10月ごろに配布されたばかりの94年版は追補も含めると本文130頁だ。そして表紙が今年はこれまでとは大きく変わった。ロゴマーク(後述)が登場し、文字も大きくなり、表紙のレイアウトが随分賑やかになったのだ。



『ICA年鑑』



ICAパンフレット（一部拡げたところ）

この年鑑はＩＣＡ会員には無料で配布される。追加の余分がほしい人はＩＣＡ事務局にその旨申し出る必要がある。また、ＩＣＡ／ユネスコ出版リストも同様に申し込み制。

ところで、ＩＣＡのロゴマークは、1994年版に初めて登場したことは、さきにも触れた。このマーク、過去と未来をみつめる２つの人の顔が向き合っている。このロゴマークには色指定もあるのだそうだ。去る11月、東京で開催されたＩＣＡ防災委員会のメンバーによる研究集会などで紹介されたこのＩＣＡパンフレットは、指定の赤紫色(PANTONE 228C, Burgundy)で印刷されていた。構成も、ロゴマークとＩＣＡの組織機構、沿革、おまけに申込書までが盛り込まれ、お洒落ですてきな仕上がりだった。

（小川千代子・国際資料研究所）